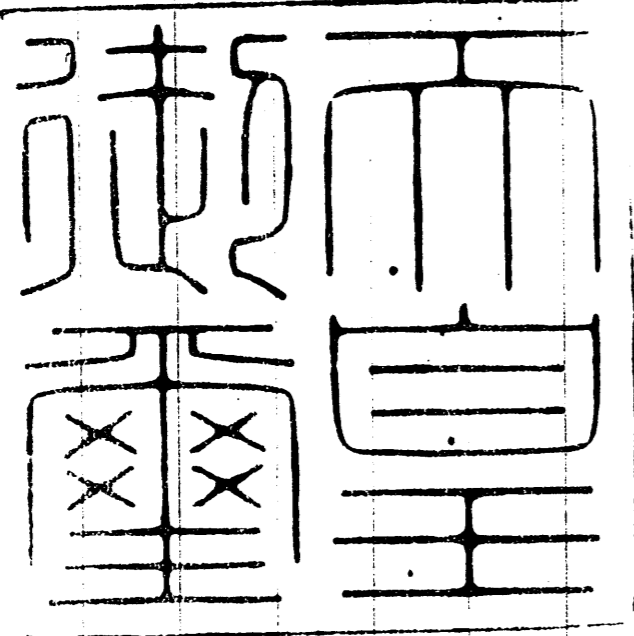


勅令第四百六十五號

朕商工經濟會法施行令ヲ裁可シ茲  
ニ之ヲ公布セシム

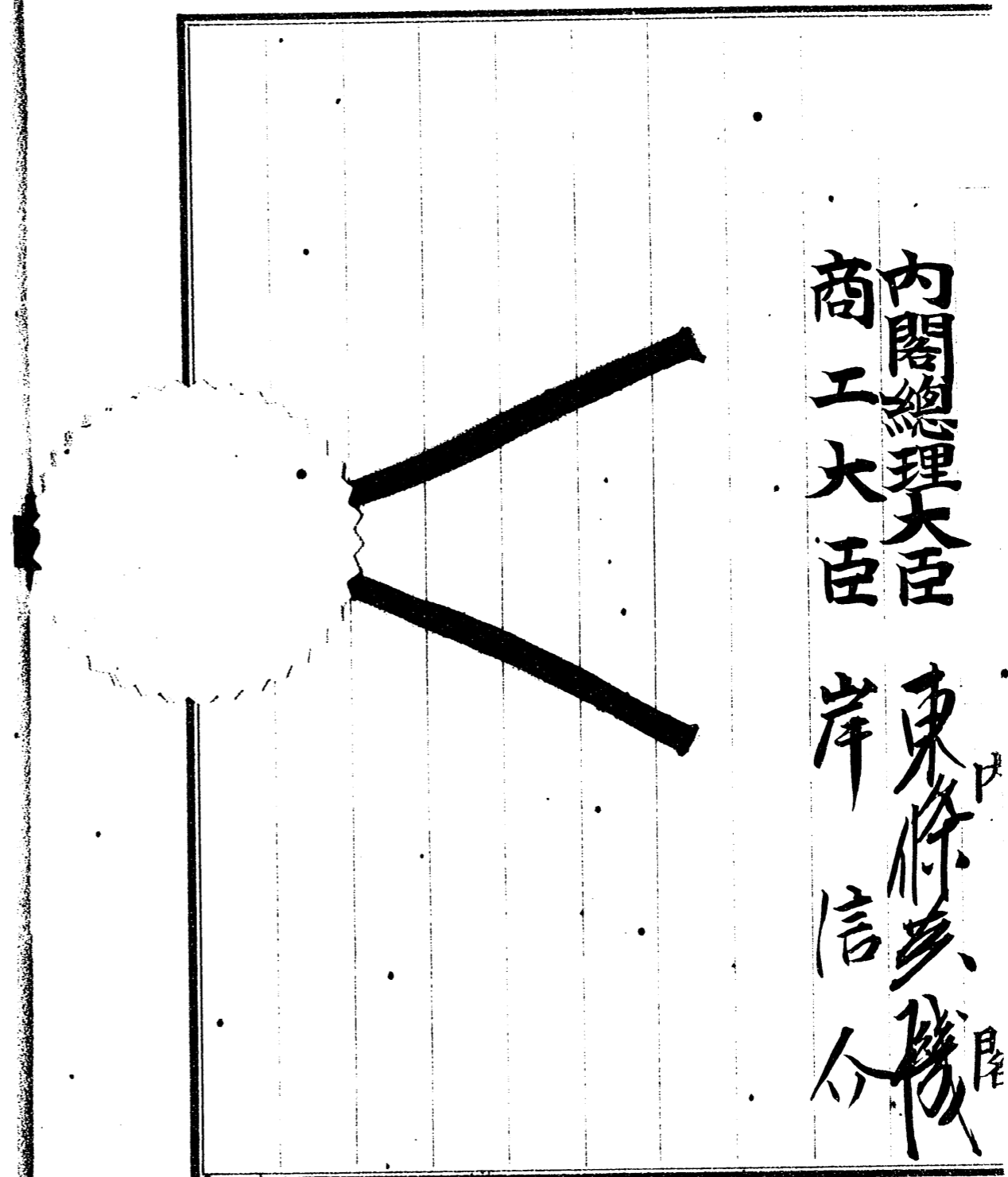
裕仁



昭和十八年五月二十八日

四

内閣總理大臣 東條英機  
商工大臣 岸信介



勅令第四百六十五號

商工經濟會法施行令

第一章 登記

第一條 商工經濟會ノ設立ノ登記ハ設立ノ認可アリタル日ヨリニ

週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

登記スベキ事項左ノ如シ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所
- 五 會頭、副會頭、理事長、理事及監事ノ氏名及住所

商、  
開

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ二週間以内ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 商工經濟會ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間以内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間以内ニ前條第二項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第三條 商工經濟會ノ解散ノ命令アリタルトキハ事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 商工經濟會ノ清算人ノ選任アリタルトキハ二週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

ス

第一條 第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 商工經濟會ノ清算終了シタルトキハ二週間以内ニ事務所所在地ニ於テ清算終了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條 登記シタル事項ハ裁判所連滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第七條 商工經濟會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ商工經濟會登記簿ヲ備フ

第八條 商工經濟會ノ設立ノ登記ハ會頭ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス  
前項ノ登記ノ申請書ニハ定款及申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添

附スルコトヲ要ス

第九條 第一條第三項ノ規定ニ依ル登記ハ會頭又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十條 商工經濟會ノ解散ノ登記ハ商工大臣ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第十一條 第四條ノ規定ニ依ル登記及商工經濟會ノ清算終了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第四條第一項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四條第二項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十二條 非訟事件手續法第百四十二條乃至第百五十條ノ二、第百五十一條乃至第百五十一條ノ四、第百五十一條ノ六及第百五十四條乃至第百五十七條ノ規定ハ商工經濟會ノ登記ニ之ヲ準用ス

## 第二章 解散及清算

第十三條 商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十四條 商工大臣商工經濟會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ商工經濟會ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スベシ

附  
録

附  
録

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ノ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スル  
裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコ  
トヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ商工大臣ニ  
通知スベシ

第十五條 清算人ハ商工經濟會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一  
切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十六條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ  
受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ  
方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條 商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ  
債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徴收スルコトヲ得

商工經濟會法第二十六條ノ規定ハ前項ノ賦課徴收ニ關シ之ヲ準  
用ス

第十八條 商工大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコト  
ヲ得

第十九條 商工經濟會ノ清算終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ  
商工大臣ニ通知スベシ

第二十條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項並ニ非  
訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二  
ノ規定ハ商工經濟會ノ清算ニ之ヲ準用ス

第三章 樺太ニ於ケル特例

第二十一條 樺太ニ在リテハ商工經濟會法第三條中道府縣トアルハ樺太トシ同法第四十四條中其ノ地偏ノ屬スル道府縣トアルハ樺太トス

第二十二條 樺太ニ在リテハ商工經濟會法第六條第二項中主務大臣トアルハ樺太廳長官ハトス

附則

本令ハ商工經濟會法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
商工會議所法施行令及昭和十六年勅令第二百二十四號ハ之ヲ廢止ス

樺太施行法律特例中左ノ通改正ス

第七條ノ三ヲ削ル

第二十二條 削除

商工經濟會法第四十三條ノ規定ニ依ル商工會議所ニハ商工會議所法施行令、昭和十六年勅令第二百二十四號並ニ従前ノ樺太施行法律特例第七條ノ三及第二十二條ノ規定ヲ適用ス

内閣